

8 産 業

(1) 就業人口

○庄内地域の就業人口は、第1次産業は、人口数、構成比とも減少し、第3次産業では、いずれも増加する状況が続いており、全県でみても同様の状況となっている。

○構成比の推移を全県と比較してみると、第1次産業は概ね全県と同水準で推移している。

第2次産業は、昭和60年でみると庄内の比率が低く、一方で、第3次産業の比率が高かったが、平成17年でみると、第2次産業、第3次産業もほぼ全県と同程度となり、産業別就業人口は、全県と同様の構造となった。

【表31】産業別就業人口の推移

(単位：千人、%)

		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
山形県	就業人口	652.6	100.0	656.9	100.0	657.2	100.0	642.6	100.0	612.1	100.0
	第1次産業	130.9	20.1	104.9	16.0	84.9	12.9	71.0	11.1	66.7	10.9
	第2次産業	218.3	33.5	234.6	35.7	231.9	35.3	223.3	34.8	185.8	30.3
	第3次産業	303.0	46.4	316.9	48.2	339.7	51.7	347.5	54.1	356.2	58.2
庄内	就業人口	170.1	100.0	170.8	100.0	170.0	100.0	163.9	100.0	154.6	100.0
	第1次産業	34.5	20.3	27.4	16.0	21.6	12.7	17.6	10.7	17.3	11.2
	第2次産業	54.1	31.8	60.3	35.3	60.2	35.4	57.4	35.0	46.0	29.8
	第3次産業	81.4	47.9	83.0	48.6	88.1	51.8	88.8	54.2	91.0	58.9

注：業種分類不能があるため、就業人口と産業別就業人口の合計は一致しない

資料：国勢調査

【図7】庄内地域の産業別人口と構成比の推移

